

2. 交流協定

学術交流協定

協定国	協定先	協定先(アルファベット表記)	協定年月日	期間
ギニア	ギニア科学技術庁	La Direction Nationale de la Recherche Scientifique et Technique	2004.1.28	5 年間 (自動継続)
ギニア	ボソソウ環境研究所	L'Institut de Recherche Environnementale de Bossou (IREB)	2016.6.28	5 年間 (自動継続)
台湾	国立屏東科技大学 野生動物保全学研究所	Institute of Wildlife Conservation National Pingtung University of Science and Technology	2018.1.24	10 年間
大韓民国	ソウル大公園(ソウル動物園)	Seoul Grand Park (Seoul Zoo)	2010.4.28	—
タイ	チュラロンコン大学理学部	Faculty of Science, Chulalongkorn University	2010.5.24	5 年間 (自動継続)
スイス	チューリッヒ大学獣医学部	The University of Zurich, Vetsuisse Faculty, Clinic of Zoo Animals, Exotic Pets and Wildlife	2012.6.20	3 年間 (自動継続)
コンゴ民主共和国	キンシャサ大学理学部	Faculty of Science, University of Kinshasa, Democratic Republic of Congo	2013.1.7	5 年間 (自動継続)
インドネシア	ガジャマダ大学獣医学部	The Faculty of Veterinary Medicine, Universitas Gadjah Mada, Indonesia	2018.4.1	5 年間
インドネシア	ボゴール農科大学理数学部	The Faculty of Mathematics and Natural Sciences, Bogor Agricultural University, Indonesia	2013.11.13	5 年間
中国	中山大学社会学与人類学院	The School of Anthropology and Sociology, Sun Yat-sen University, China	2015.3.11	5 年間
スリランカ	スリジャヤワルデネプラ大学社会学・人類学教室	The faculty of Humanities and Social Sciences, Department of Sociology and Anthropology, University of Sri Jayawardenepura, Sri Lanka	2015.8.15	10 年間
タイ	タイ王国動物園協会	The Zoological Park Organization, Thailand	2015.12.15	5 年間
タイ	チュラロンコン大学霊長類研究センター	National Primate Research Center of Thailand, Chulalongkorn University, Thailand	2015.12.15	5 年間
大韓民国	韓国国立生態院	National Institute of Ecology, Republic of Korea	2016.4.5	5 年間 (自動継続)
アメリカ	ケント州立大学 人類学・生物医学 (バイオメディカルサイエンス) 部門	THE DEPARTMENT OF ANTHROPOLOGY AND THE SCHOOL OF BIOMEDICAL SCIENCES, KENT STATE UNIVERSITY, USA	2016.7.27	5 年間 (2016.8.1～)
アメリカ	リンカーンパーク動物園 インディアナポリス動物園	THE LESTER E. FISHER CENTER FOR THE STUDY AND CONSERVATION OF APES (LINCOLN PARK ZOO) THE POLLY H. HIX INSTITUTE FOR RESEARCH AND CONSERVATION (INDIANAPOLIS ZOO)	2016.11.11	5 年間
インド	インド国立高等研究所	The National Institute of Advanced Studies Bangalore, India	2016.12.19	10 年間
コンゴ民主共和国	生態森林研究所	The Research Center for Ecology and Forestry, D.R.Congo	2016.6.1	5 年間
ミャンマー	ミャンマー文化宗教省考古局	The Department of Archaeology and National Museum of the Ministry of Religious Affairs and Culture, Nay Pyi Taw, Myanmar	2017.12.13	5 年間 (自動継続)
アメリカ	サンディエゴ動物園	The Zoological Society of San Diego d/b/a San Diego Zoo Global, USA	2018.8.9	5 年間

共同研究協定

日本	財団法人名古屋みなと振興財団 (名古屋港水族館)		2009.7.3	—
マレーシア	オランウータン島財団	Orang Utan Foundation	2010.11.1	—
マレーシア	ブラウバンディング財団	Pulau Banding Foundation	2010.11.1	—
日本	西海国立公園九十九島水族館 「海きらら」		2012.6.16	—
日本	日本モンキーセンター		2014.10.15	—
日本	大学共同利用機関法人 自然科学研究機構生理学研究所		2014.1.22	5 年間 (自動継続)

日本	新潟大学脳研究所		2015.8.1	5 年間 (自動継続)
日本	中部大学創発学術院		2016.9.2	5 年間 (自動継続)
日本	公益財団法人鹿児島市水族館公社 (かごしま水族館)		2016.11.1	5 年間 (自動継続)

3. 学位取得者と論文題目

京都大学博士（理学）

豊田有（課程）：Studies on male mating strategy, reproductive success, and copulation related behaviors of stump-tailed macaques in Khao Krapuk Khao Taomor Non-Hunting Area, Thailand

（タイ王国カオクラプックカオタオモー禁猟区に生息するベニガオザルのオスの繁殖戦略と繁殖成功、および交尾関連行動の研究）

Liesbeth Martina Frias Villarroel（課程）：Host-parasite community interactions in a human-modified habitat
（人為的撓乱を受けた生息環境における宿主-寄生虫間の交渉）

Cecile Anna Sarabian（課程）：Exploring the origins of disgust: Evolution of parasite avoidance behaviors in primates

（嫌悪の起源を探る：霊長類における寄生虫回避行動の進化）

小笠原宇弥（課程）：黒質-線条体ドーパミン神経系が反応抑制に果たす役割の解明

入口真夕子（課程）：Modulation of colour and odour perception, and cross-modal correspondences for women in the menstrual cycle and menopause

（月経サイクルと閉経における色とにおいの知覚と多感覚の調整）

京都大学修士（理学）

BROCHE JR. NELSON：ニホンザルにおけるストレスの指標としての α -アミノラーゼ酵素に関する研究

大塚友紀子：霊長類における神経回路への介入操作に適する逆行性感染型ウイルスベクターの開発

岡田佐和子：ニホンザル精巣における遺伝子発現プロファイリングと発育動態の解明

木村慧：霊長類脳への神経細胞特異的かつ高効率な遺伝子導入を実現する改変 AAV ベクターの開発

柴田翔平：カリンズ森林保護区におけるオスチンパンジーの分散傾向と攻撃行動

瀧山拓哉：聴覚刺激の弁別における時間的特徴および周波数帯域の影響について：チンパンジーとヒトを対象にした比較認知科学的研究

仲井理沙子：チンパンジー/ヒト iPS 細胞を用いた初期神経発生動態の誘導と解析

李婉儀：ニホンザルの腸内細菌叢に人間活動が与える影響

YAN XIAOCHAN：スラウェシマカク 4 種の苦味感受性の特徴

4. 外国人研究員

招へい外国人学者・外国人共同研究者

V Romano de Paula（フランス ストラスブール大学・大学院生）

（2017.11.27～2019.2.13）

受入教員：MacIntosh Andrew

研究題目：環境圧力、社会性、健康における関連性の理解

J Duboscq（フランス 所属・無）

（2017.9.9～2018.6.17）

受入教員：MacIntosh Andrew

研究題目：マカク類の感染症が宿主の行動に与える影響とそのリスク評価

B Kubenova（チェコ 南ボヘミア大学）

（2017.11.1～2019.10.31）

受入教員：MacIntosh Andrew

研究題目：ニホンザルにおける乳幼児 handling および乳幼児とワカモノの社会関係の形成

X Bal（イタリア パヴィア大学・大学院生）

（2018.3.13～2018.9.29）

受入教員：MacIntosh Andrew

研究題目：ニホンザルにおける乳幼児 handling および乳幼児とワカモノの社会関係の形成

C Ejikeugwu（ナイジェリア エボニ州立大学）

（2018.4.15～2018.9.30）